君津中地区社会福祉協議会だより 第53号　　平成30年3月15日(木)

ふれあいと
支えあい
豊かな地域社会

# 絆の通信

題字は故斎藤翠谷先生

発　行
君津中地区社会福祉協議会
編　集
同上広報事業部会
連絡先
君津市保健福祉センター
TEL　57-2250
FAX　54-2941

# 子どもを育む地域力

## 子育てサロン クリスマス会　ふれあい館　12月13日(水)

今年のクリスマス会では地域のボランティアの手品や腹話術を楽しみ、みんなで歌をうたいました。サンタさんからのプレゼントに、子どもたちの笑顔があふれました。児童・家庭部会のボランティアの皆さんに見守られて遊ぶ、子どもたちの様子もほほえましく、お母さんたちにも『心のゆとり』という素敵なプレゼントがあったようです。

**子育てサロン開催日**
**毎月第1水曜日：こだま館**
**毎月第2水曜日：ふれあい館**
10：00～12：00
**お母さんがほっと休める場**
**子育て中の皆さん！**
**ぜひ遊びに来てきてくださいね。**

親子そろって手品や腹話術にくぎづけ♪

サンタさん、プレゼントありがとう！

君津市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ほのぴー

## 児童と高齢者の交流を図るイベント　南子安小学校　11月11日(土)

児童と高齢者の交流を図るイベントを開催しました。

木更津レクリエーション協会の方を講師にお迎えし、約100人の参加者が楽しい一時を過ごしました。

準備運動やレクリエーションのあと８チームに分かれ、６種類のゲームを行いました。スタッフが用意した景品を目当てに（？）大変白熱したゲーム大会になりました。

最後に、上位に入ったチームやがんばった個人が表彰され、交流会が終了しました。

今後どこかで出会ったときに挨拶が交わせるようになり、地域のコミュニティーがさらに広がっていくことを期待しております。

# ボランティアと障害者との研修・交流会

ふれあい館
12月3日(日)

第16回ボランティアと障害者との研修・交流会（信頼と絆を深めよう！）が、125名の参加者のもと盛大に開催されました。

研修会は、障害者団体およびボランティア活動の発表で、「みどり・ひろがりの会」「万事会（よろずかい）」「君津市共励会」の３団体からの活動内容の紹介と、皆さんへ協力のお願いがありました。重い障害のある人たちが、安心して過ごせる取組みや、若い人たちが生き甲斐をもってボランティアに参加できるようにしていくための苦労と喜び、そして、家族相談室を通して心のケアにどう向き合っていくのかなど、大変参考になりました。

最後に、「ボランティアで蘇った命」と題して、中地区在住の須藤研一氏から、ご自身のボランティア活動についての体験発表がありました。須藤氏は、これまで幼稚園や小学校、お寺などの補修や塗装を無償で引き受けて下さり、地域のために数多くご尽力されてきました。身障者のためのボーリングシューター作りは、新聞でも紹介され、皆さんもご存じのことと思います。これからボランティアを目指す方々にとっても、貴重な指針になったことと思います。

研修のあとは、どのテーブルも和気藹々と話が弾み、日頃の悩みやボランティアの苦労などが語られました。

熱の入った発表に感動

みんなで体操元気よく

昼食懇親会は和気藹々

ハーモニカとギター演奏

# ふれあい食事会

生涯学習交流センター
11月29日(水)

70歳以上ひとり暮らし高齢者の皆さんとボランティアとのふれあい食事会が、たくさんの方の参加協力を得て賑やかに開催されました。

食事ボランティア手づくりの料理をいただきながら、皆さん演芸を楽しまれ、交流の輪が広がっていました。

話が弾んだ交流の時間

「すみれ会」の大正琴

「カトレア」のフラダンス

大きな拍手に包まれた上湯江保育園の園児による歌や踊り

「紫扇会」の舞踊

「杢師福寿会舞踊部」の舞踊

「どんぐり劇団」の手品と腹話術

# 第２１回君津市　ボランティアの集い

生涯学習交流センター
2月24日（土）

ボランティア連絡協議会・市社会福祉協議会主催の「ボランティアの集い」が、今年度は私たち中地区社会福祉協議会の協力により、盛大に開催されました。「高齢社会における介護の現状とボランティアへの期待」と題する基調講演では、今後日本の超高齢社会では、ボランティアの活動が社会システムの中に組み込まれ、その力が大きく期待されることになるとの話でした。その後、グループ活動の発表、アトラクション等が行われました。

市のボランティアセンターには78団体と多数の個人ボランティアが登録し、活動しています。

例えば「ゴミ拾い」も一つのボランティア。皆さん！身近なできることからボランティアを始めませんか？

基調講演　林　英一氏

グループ活動を発表した３団体

中地区社協の活動を発表する　宗廣会長

北子安地区「にこにこサロン」古梶氏発表

元気よく「傾聴ボランティア ハート」の発表

## 今年度の事業を振り返って

各部会の担当者にお話を伺いました。

### 高齢者・障害者部会

「ふれあい食事会」は、事前準備から当日の接待まで食事ボランティアや民生委員の協力を得、たくさんの方に参加いただき、楽しい時間を過ごせたことが心に残っています。
また、「ボランティアと障害者との研修・交流会」等の参加は、実情把握と相互理解に大いに役立ちました。
今後とも、一つ一つの活動に真剣に取り組んでいきたいと思います。

### 配食サービス

調理ボランティアを中心とする月一回の食事サービス事業は、７５歳以上のひとり暮らし高齢者見守り事業の一環として実施されています。地域の民生委員が窓口になって対象者の登録を行い、調理ボランティアは弁当の献立作りから調理まで全て手作りで行い、対象者に配食ボランティアの皆さんが届けています。今年度も事故無く皆さんにお届けすることができました。

また「健康と福祉のふれあいまつり」では薬膳たまごを販売し、「ふれあい食事会」の調理を担当しました。

### 児童・家庭部会

小学校でのあいさつ運動に始まり、下校時の安全パトロール、子育てサロン、青少年育成協議会のレッツ・トーク（中学生のあいさつ運動）といった活動を実施して参りました。これらの事業を地域の皆さんとともに一生懸命に取り組み、大きな効果を得たのではないかと思っております。今後も、子どもたちの成長を見守り、応援していきたいと思います。

### 交流部会

「高齢者バスハイク」や「児童と高齢者の交流を図るイベント」に多くの皆さまに参加していただき、感謝しております。特に後者のイベントは、レクリエーションゲームを取り入れた新しい試みでしたが、参加人数も多く楽しんでいただけ、今後も続けていければと思います。

＊総務企画部会は、「敬老会」「バザー」「ふれあい食事会」や役員研修等の事業を推進しました。
＊広報部会は、年３回の広報紙発行、および中地区社協に関する広報活動を行いました。

# 君津市社会福祉大会に参加して

君津市文化ホール(中ホール)
2月2日(金)

君津市社会福祉大会が、『いつまでも住み続けたい支えあいのまちを目指して』をテーマに開催されました。多年にわたる社会福祉活動の推進と発展に功労のあった方々の表彰、福祉の標語コンクール入賞者への表彰状の贈呈、記念講演、そして、福祉教育活動発表では君津中学校吹奏楽部と合唱部による合同演奏が行われました。（中学校では、「仲間を大切にする運動」の推進など、福祉活動に取り組んでいます。）

拍手喝采を博した君津中学校吹奏楽部と合唱部の皆さんによる、手話を交えての合唱

## 記念講演　講師　宮川泰夫氏（元ＮＨＫアナウンサー）

### 『どうせ老いるなら　”　明るく 楽しく 元気よく　”　』

～のど自慢の出会いから～

宮川氏は12年間「ＮＨＫのど自慢」の司会を担当。この番組は、視聴者参加型・徹底した地域密着型で、人々にマイクを開放し、人々の歌うことでの喜び・表情・姿を映し出している。脳梗塞で発声もままならなかった方が、この番組に出ることを目標に頑張って出場したなど、様々な人生を掛けた出会いを体験し、この番組の司会という仕事のすばらしさを実感なさったとのこと。そして”明るく 楽しく 元気よく”「ＮＨＫのど自慢」は人々の幸せを助ける仕事だったと話されました。最後に、**「地域のことが人の暮らしの原点であり心の栄養を育む源である」**と、地域の大切さを述べた言葉で締めくくられました。

**中地区社協で表彰された方**　（敬称略）　渡邊 法子　川島 昇　東谷 章　箱田 純子　藤岡 秀之

**福祉の標語コンクール優秀賞の皆さん**　（敬称略）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 南子安小学校 | 石井 麗（３年生） | 川崎 留果（６年生） | 藤岡 祐也（６年生） | | |
| 貞元小学校 | 齊藤 董（２年生） | 小林 悠叶（５年生） | | | |
| 君津中学校 | 富田 迦楼羅 | 稲葉 風花 | 中野 桃霞 | 松枝 優翔 | （以上１年生） |
| | 海老水 遥 | 窪田 彩花 | 渋田 万由子 | 秋葉 いくみ | （以上２年生） |
| | 本吉 海捺 | 吉田 幹 | 山口 藍 | 持明 菜々子 | （以上３年生） |

## 編集後記

この１年間、取材等で様々な事業に参加する機会がありました。誰もが生き生きと幸せ感を覚えつつ生活できる地域となるため、行政・社協・住民代表等が話し合い模索している姿が一方にあり、他方、住民同士がお互いに声がけをして気遣っている姿を多々見てきました。情報が地域にさらに公開されて、様々な事項がうまく手を繋いで、よりよい地域社会となることを切に願っています。１年間のご愛読ありがとうございました。（Ｉ）